



6月号 令和5年5月31日発行

# 窪田小だより

横浜市都筑区窪田南町694番地 [Tel.911-0149]  
[<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/eda/>]



## 保護者・地域とともに力を合わせて

副校長 伊瀬知 大記

今年度も、学校の田んぼでは、田植えに向けて準備が進められています。5月には、5年生の児童が畔塗りや代掻き等の作業を行いました。泥まみれになりながら一生懸命取り組む姿や少し抵抗感がありながらも土に触れることを楽しんでいる姿が見られました。また、地域の方にお借りしている畑にも、1・2年生がサツマイモの苗を植えました。

子どもたちが田んぼや畑で作業をする前に、職員が準備を行います。土に肥料を混ぜたり田んぼに水を入れたり、土を耕したりマルチを張ったり、他にも様々な作業があります。また、育て始めてからも水の管理や草取り等、子どもたちと一緒にやることもありますが、休日や長期休暇中は職員が行っています。ただ、職員だけでは作業が十分に行き届かないこともあります。

そのような中、ありがたいことに、いつも地域の方がお手伝いをしてくださり、助けていただいています。先日も草刈りや代掻きを手伝っていただきました。また、定期的に様子を見に来て職員にアドバイスをしてくださいます。地域の方に支えられていることを実感しています。



代掻き後の外田んぼの様子

先日、地域学校協働活動事業※の本部打合せの会がありました。

※地域学校協働活動事業は、未来を担う子どもたちを健やかに育むために、学校・家庭・地域が連携・協働し、社会全体の教育力の向上に向けた取組の一層の推進を図ることを目的に実施しています。協働本部は、学校・地域コーディネーターを中心に、保護者や地域住民等で構成し、地域における学習支援や体験活動などの取組を、学校と連携を図りながら企画・実施します。

【令和5年度版地域学校協働活動事業手引き より】

今年度、地域学校協働本部として、学校と保護者・地域の方をどのように繋げていくかという話題になりました。これまでも、学校の様々な教育活動を行う際に、保護者や地域の方の力をお借りしてきました。例えば、体力テストや交通安全教室等の学校行事や田んぼの活動におけるボランティア活動や読み聞かせ、花壇整備の活動等が行われてきました。今後も継続していくためには、保護者や地域の方の協力が不可欠で、その取りまとめを学校地域協働本部が担っていくという方向性が見えてきました。この取組のイメージについては、別途保護者の皆様にお伝えします。

今年度、学校地域協働本部を核として、学校と保護者と地域の方がつながり、力を合わせて、持続可能な教育活動を行っていきたいと思います。